

■事前に熟読・ご確認いただく事項

商品内容・リスク等に関する説明について、次項以降の以下の書面を必ずご確認ください。

■ご確認ください書面

- 店頭外国為替証拠金取引に係るご注意
- 店頭外国為替証拠金取引説明書（新・楽天銀行FX取引説明書）
- 店頭外国為替証拠金取引（新・楽天銀行FX）ルール

店頭外国為替証拠金取引に係るご注意

- ◆ 本取引は、金融商品取引法において不招請勧誘禁止の対象となっている店頭デリバティブ取引であるため、お客さまより事前に要請がない限り、訪問・電話による勧誘はできない取引です。(注1)
※ この取引に関して行われた勧誘が、訪問・電話による場合、お客さまの要請によるものであることを、改めてご確認ください。
- ◆ 本取引は、証拠金の額を上回る取引を行うことができることから、場合によっては、大きな損失が発生する可能性を有しています。
また、その損失は、差し入れた証拠金の額を上回る場合があります。お客さまの窓口へのご来店又は勧誘の要請による勧誘が開始された場合においても、本取引の内容等を十分ご理解のうえ、お取引いただきますようお願いいたします。
- ◆ お取引内容および商品に関するご確認・ご相談・苦情等ございましたら、楽天銀行カスタマーセンターまでお問い合わせください。※
なお、当行とお客さまとの間で、解決に至らない問題が発生した場合には、解決手段のひとつとして金融ADRという制度がございます。
金融ADRは、行政庁が指定・監督する紛争解決機関(指定紛争解決機関といいます。)が関与し、同機関に所属する金融分野に見識のある弁護士などの専門家が、中立・公平な立場から和解案を提示して、紛争の解決を図る制度です。
詳細については、下記の指定紛争解決機関までお問い合わせください。

<p>■ 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター 電話番号：0120-64-5005</p> <p>■ 一般社団法人 全国銀行協会 連絡先：全国銀行協会相談室 電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772</p>

※楽天銀行カスタマーセンター 貯蓄・運用窓口

連絡先 0120-386-910(通話料無料) 携帯電話・PHS等からは 0570-051-910(通話料有料)

月曜日から金曜日まで、9：00～17：00の間でお電話によるお申出を受付しております。(祝日及び年末年始を除く)

(注1) ただし、以下に該当する場合は適用されません。

- 当該取引に関して特定投資家に移行されているお客さまの場合
- 勧誘の日前1年間に、2以上のお取引いただいていたお客さま及び勧誘の日に未決済の残高をお持ちのお客さまの場合

楽 天 銀 行 株 式 会 社

登録金融機関 関東財務局長(登金)第609号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

店頭外国為替証拠金取引説明書

(新・楽天銀行FX取引説明書)

(この書面は、金融商品取引法第37条の3の規定に基づきお客さまに交付する契約締結前交付書面です。)

平成30年11月30日

楽天銀行株式会社

登録金融機関 関東財務局長（登金）第609号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

- この書面は、お客さまと楽天銀行株式会社（以下「当行」といいます。）との間で行うインターネットを利用した店頭外国為替証拠金取引（新・楽天銀行FX）（以下「本取引」といいます。）に関するものです。
- 本取引を行うに当たっては、店頭外国為替証拠金取引説明書（新・楽天銀行FX取引説明書）（以下「本取引説明書」といいます。）の内容を十分に読んでご理解ください。
- 本取引は、金融商品取引法第2条第22項第2号に規定する店頭デリバティブ取引に該当する取引であり、当行を取引の相手方とする相対取引によって行います。このため、取引条件はお客さまと当行との契約により定まります。
- 本取引は、取引対象である通貨の価格に基づき算出される金融指標の価格の変動により損失が生ずることがあります。さらに、取引金額がその取引についてお客さまが預託すべき証拠金の額に比して大きいため、その損失の額が証拠金の額を上回ることがあります。
- 非対円通貨の組合せ（外貨建ての取引）においては、取引の損益のほか、当該外貨を円貨に転換する際に、為替変動による影響を受けることがあります。
- 本取引は、多額の利益が得られることもある反面、多額の損失を被る危険を伴う取引です。したがって、本取引を開始する場合または継続して行う場合には、本取引説明書のみでなく、本取引の仕組みやリスクについて十分に研究し、自己の資力、取引経験および取引目的等に照らして適切であると判断する場合にのみ、自己の責任において行うことが肝要です。

目 次

店頭外国為替証拠金取引のリスク等重要事項について	5
本取引の仕組みについて	8
1. 取引の方法	8
2. 注文執行基準	9
3. 証拠金	12
4. スリッページ	15
5. 決済に伴う金銭の授受	15
6. 取引規制	15
7. 益金に係る税金	16
8. 本契約の終了事由	16
本取引の手続きについて	17
店頭外国為替証拠金取引行為に関する禁止行為	19
当行の概要および苦情受付窓口・苦情処理・紛争解決について	22
本取引に関する主要な用語	24

本取引説明書は、金融商品取引業者および登録金融機関（以下「金融商品取引業者等」といいます。）が金融商品取引法第37条の3の規定に基づきお客さまに交付する契約締結前交付書面で、同法第2条第22項に規定する店頭デリバティブ取引のうち同項第2号に規定する、現物決済（受渡決済）を行わず差金決済のみを行う金融指標に係るデリバティブ取引である店頭外国為替証拠金取引について説明します。

店頭外国為替証拠金取引のリスク等重要事項について

○ 本取引に関してお客さまが支払うべき対価に関する事項の概要

本取引に関する手数料は無料です。ただし、取引費用は、手数料だけでなく、お客さまの売値（以下「ビッドレート」または「買気配」といいます。）とお客さまの買値（以下「アスクレート」または「売気配」といいます。）の差額（スプレッド幅）、スワップポイントの受取りと支払いの差額（スプレッド幅）等を総合的に検討する必要があります。

なお、取引ツールに関する利用料等につきましては、『店頭外国為替証拠金取引ソフトウェア規定（新・楽天銀行FXソフトウェア規定）』をご確認ください。

○ 本取引のリスク

・ 市場リスク（価格変動リスク）

- ①. 本取引は、取引対象である通貨の価格に基づき算出される金融指標の価格の変動により損失が生ずることがあります。さらに、取引金額がその取引についてお客さまが預託すべき証拠金の額に比して大きいため、その損失の額が証拠金の額を上回る可能性があります。
- ②. 毎取引日の取引時間終了時点におけるビッドレートとアスクレートの中心値を基準に算出された必要証拠金に対する純資産の割合（以下「証拠金維持率」といいます。）が当行所定の割合を下回ったときは、追加証拠金を入金するか、あるいは建玉の全部または一部を決済し、追加証拠金が発生した状況を解消する必要があります。これに応じない場合には、建玉のすべてを強制的に決済されるため、証拠金の額に損失が生じることがあります。
- ③. 損失の額が差し入れた証拠金の額に対し所定の水準に達したときは、損失を被った状態で建玉のすべてを決済されることもあります（以下「ロスカットルール」といいます。）。ただし、相場が急激に変動した場合には、ロスカットルールがあっても、証拠金の額を上回る損失が生じることがあります。
- ④. 外国為替証拠金取引におけるスワップポイントは、対象となる通貨の市場金利を反映するため、市場金利が変動すれば、スワップポイントも変動します。また、スワップポイントが受取りから支払いに転じることもあります。なお、対象となる通貨の需給によっては、金利差を反映せず、買い付けた通貨の対象国の金利が売り付けた通貨の対象国の金利よりも高い場合にもスワップポイントを支払うことになることがあります。
- ⑤. 非対円通貨の組合せ（外貨建ての取引）においては、取引の損益のほか、当該外貨を円貨に転換する際に、為替変動による影響を受けることがあります。

・ 信用リスク（取引相手リスク）

本取引については、取引相手である当行が義務を履行しないリスクおよび当行の業務または財産の状況が悪化することによりお客さまが差し入れた証拠金その他のお客さまの資金の返還が困難になるリスクがあります。

・ 流動性リスク

- ①. 相場が急変したときには、ビッドレートとアスクレートのスプレッド幅が広がったり、意図した取引ができない可能性があります。
- ②. 市場の状況によっては、意図したとおりの取引ができないこともあります。例えば、取引数量や建玉数量に制限が設けられた場合には、転売または買戻しをする反対売買（以下「反対売買」といいます。）を希望しても、それができないことがあります。

・オペレーショナルリスク等

- ①. 取引システムまたは当行とお客さまを結ぶ通信回線等が正常に作動しないことにより、注文の発注、執行、確認、取消し等が行えない可能性があります。
- ②. お客さまに注文入力ミスがあった場合、意図した注文が約定しない、または意図しない注文が約定する可能性があります。

・カバー取引先のリスク

当行は、お客さまの注文約定と同時に、システムによる自動発注により、お客さまとの取引から生じるリスクの減少を目的とするカバー取引を、下記のカバー取引先（※）と行います。マリー取引（お客さまの約定と対当（同じ通貨ペアで売り買いが反対）する約定がある場合に為替変動リスクを相殺する取引）は発生しません。当行は下記のカバー取引先（※）のみとカバー取引を行うところ、当行またはカバー取引先の業務または財産状況の悪化等により、カバー取引が停止することがあります。この場合、カバー取引はお客さまの約定と連動しているため、お客さまは取引を行うことができなくなり、その間の為替相場変動によっては、預託した証拠金を上回る損失を被る恐れがあります。また、万が一お客さまの注文が約定したにもかかわらずカバー取引が行われなかった場合には、新・楽天銀行FXでは他のカバー取引先が存在しないため、当行がお客さまの取引により生じる損失をカバー取引と相殺できない結果、当行の損失が拡大し、当行の財務状況が悪化することにより、お客さまの取引を継続できなくなる恐れがあります。

（※）楽天証券株式会社（証券業）

○ クーリングオフについて

お客さまが注文執行後に当該注文に係る契約を解除すること（クーリングオフ）はできません。

○ 証拠金の取扱いについて

お客さまから預託を受けた証拠金は、楽天信託株式会社における金銭信託により、当行の自己の資金とは区分して管理しております。

○ カバー取引先

当行は、お客さまとの取引から生じるリスクの減少を目的とするカバー取引を楽天証券株式会社（証券業）と行っています。カバー取引は、当行の判断のもとで当行が行う取引であり、カバー取引先とお客さまの間には一切の契約はなく、お客さまがカバー取引先に対し直接請求権を持つものではありません。また、カバー取引先がお客さまからのご照会やお問合せに応じることもありません。

本取引の仕組みについて

当行における店頭外国為替証拠金取引は、金融商品取引法その他の関係法令、一般社団法人全国銀行協会および一般社団法人金融先物取引業協会その他の関係規則（本取引に適用される日本国以外のこれらに相当する法令および規則を含みます。以下「法令規則等」といいます。）を遵守するものとします。

1. 取引の方法

（1）通貨ペア

本取引においては、外国為替証拠金取引として、対円通貨の組合せ（以下「対円通貨ペア」といいます。）および非対円通貨の組合せ（以下「非対円通貨ペア」といいます。）の取引をすることができます。なお、対円通貨ペアの種類および非対円通貨ペアの種類、取引単位、呼び値の最小変動幅につきましては、「店頭外国為替証拠金取引ルール（新・楽天銀行FX取引ルール）」（以下「取引ルール」といいます。）をご覧ください。

（2）取引の仕組み

取引の仕組みは、各通貨ペア共通で、次のとおりです。

- ①. 本取引の注文をするときは、当行が定める取引時間内に、当行所定のインターネット取引システム（以下「取引システム」といいます。）に、取引の種類、数量、価格その他の注文の内容および注文の執行方法その他の当行所定の事項を正確に入力してください。なお、当行は、取引システムを利用できない場合であっても、当行が必要やむを得ないものとして、これに応じる場合を除き、電話、FAX、電子メール等の取引システム以外の方法により注文を受け付けません。
- ②. 当行は、お客さまに提示する価格を、カバー取引先から提供されるビッドレートとアスクレートを参考に通貨ペアおよび市場の状況に応じて決定し、通貨ペアごとにビッドレートとアスクレートを同時に提示します。お客さまはビッドレートで売付け、アスクレートで買付けることができます。なお、ビッドレートとアスクレートには差（以下「スプレッド」といいます。）があります。スプレッドは、通常時は安定しておりますが、早朝の流動性が低い時、経済指標発表時等、市場の状況によりスプレッド幅が広がる場合があります。また、相場急変事やカバー取引先の状況に変更が生じたことから、カバー取引先からのレート提示がないなど、マーケットの実勢レートを提示できないと当行が判断した場合には、レート提示を停止しますのでレート提示の再開まで、お客さまのお取引ができなくなる場合がございます。当行がレート提示を停止した後、カバー取引先からレート提示を受け、そのレートがマーケットの実勢レートであると当行が判断した場合に、レート提示を再開します。ただし、相場状況等によっては、レートが、マーケットの実勢レートであるか否かを当行が判断し、お客さまへのレート提示の停止・再開を行う場合があります。なお、当行は、当行がお客さまに提示したビッドレートまたはアスクレートが、市場実勢相場と乖離している等、明白に誤りであると合理的に認められるときは、当該レートに基づく取引をすべて無効とし、これに基づく約定をすべて取り消すことがあります。

- ③. 本取引の注文をするときは、あらかじめ、レバレッジコースに応じて当行が定める証拠金率を用いて算出された必要証拠金額以上の額を、円貨で取引口座に入金してください。なお、証拠金に一定限度を超える不足額が生じる等、証拠金の追加差入れが必要なときは、これに応じていただきます。
- ④. 本取引には、1取引あたりの発注の上限、ならびに注文および保有する建玉の数量の上限があります。詳しくは、取引ルールをご覧ください。
- ⑤. 本取引の決済は、反対売買による差金決済により行います。現金による受渡決済はできません。なお、差金決済の処理については、原則として、当該反対売買の約定日の翌々営業日に行います（以下「受渡日」といいます。）。ただし、当該受渡日が、通貨ペアの外国通貨の母国市場または米国市場の休業日にあたる場合には、日本、当該母国市場または米国市場に共通する当該受渡日の翌営業日とします。また、本取引に係る金銭の授受は、当行が特に認める場合を除き、円貨によるものとします。
- ⑥. 同一営業日中に反対売買を行わない建玉は、毎取引日に自動的に受渡日が翌取引日に繰り延べられます（以下「ロールオーバー」といいます。）。この場合、通貨ペア間の金利差を調整するために、その差に基づいて算出される額（以下「スワップポイント」といいます。）を当行との間で授受します。
- ⑦. スワップポイントは、ロールオーバーを行うことにより発生します。一般的に金利の安い通貨を売り、金利の高い通貨を買った場合、お客さまは通貨間の金利差をスワップポイントとして受け取ることができ、金利の高い通貨を売り、金利の安い通貨を買った場合は、その金利差をスワップポイントとして支払うこととなります。当行のスワップポイントは、同じ通貨ペアにおいて、お客さまが受け取る場合の方が、お客さまが支払う場合よりも小さくなっています。また、通貨間の金利が均衡している場合などは、どちらの通貨を買っても、又は売ってもスワップポイントを支払うこととなる場合があるほか、受取りも支払いも発生しない場合があります。なお、当行が提示したスワップポイントが、マーケットの実勢レートから明白に乖離していると当行当社が認めた場合は、当該提示したスワップポイントの訂正等を行う場合があります。また、既に当該スワップポイントにより受け払いが当行とお客さまとの間で行われていた場合でも、これを訂正させていただく場合があります。
- ⑧. 未決済の本取引について、相場の変動によって生ずるお客さまの損失を限定することを目的として、あらかじめ当行と同意して設定した条件が成就したときは、お客さまが当行に設定した取引口座を通じて行っているすべての本取引を決済するために必要な転売または買戻しを、お客さまに事前に通知することなくお客さまの計算において当行が任意に行います（「ロスカットルール」）。詳しくは、「3. 証拠金」の「（8）ロスカットの取扱い」をご確認ください。ただし、相場が急激に変動した場合には、ロスカットルールがあっても、証拠金の額を上回る損失が生じることがあります。

2. 注文執行基準

当行は、本取引において、次に掲げる基準に従って、お客さまからの注文を受注します。詳しくは取引ルールをご覧ください。

（1）お客さまからの注文の受注に係る事項

- ①. 本取引の注文は、取引口座を開設したお客さま本人からのみ受注します。

- ②. お客様は、お客様の注文に必要な証拠金について、あらかじめ当行に預託することなく注文することはできません。
- ③. 本取引には、1取引あたりの注文金額の上限ならびに注文および保有する建玉の数量の上限があります。お客様は、当該上限を超えて注文することはできません。
- ③. 本取引の約定日（以下「約定日」といいます。）は、お客様の注文に係る取引の成立を当行の取引システムにおいて確認した時とします。ただし、時差、取扱時限等の関係からお客様の発注日時と約定日時が異なることがあります。

（2）お客様の注文を執行する順序に係る事項

本取引における各注文は、お客様からの注文が当行の取引システムに到達した順に執行するものとします。

（3）お客様の注文の約定に用いる価格に係る事項

①. ストリーミング等注文

- ・ この注文は、お客様が発注する時点で画面に表示されているレートを注文レートとして行います。しかし、相場は常に変動していることから、注文レートと実際に約定するレートに差が生じる可能性があります。このため、お客様の注文を当行で受注した時点のレートが、お客様の注文レートと等しい、または注文レートと比べて有利な場合には、当該受注レートを以って約定します。また、不利な場合には、お客様がスリッページ許容幅を設定しており、受注レートがその範囲内であれば、当該受注レートを以って約定します。

②. 指値注文

- ・ この注文は、お客様が注文時に、お客様が売買を行いたいレート（注文レート）を指定して行います。
- ・ この注文の売付けは、お客様が指定した注文レートと同じか、それよりも高いレート、買付けは、お客様が指定した注文レートと同じか、それよりも低いレートが提示レートとして配信された時に、当該注文の執行の順番である場合、当該注文レートを以って約定します。ただし、注文の有効期限が「本日中」以外で発注し、当該注文が翌取引日以降に持ち越され、取引時間の開始と同時に当行の提示レートがお客様が指定した注文レートを超過している場合は、当該提示レートで約定します。

③. 逆指値注文

- ・ この注文は、お客様が注文時に、注文の執行を行うトリガーとなるレート（トリガーレート）を指定して行います。
- ・ この注文の売付けは、お客様が指定した注文レートと同じか、それよりも低いレート、買付けは、お客様が指定した注文レートと同じか、それよりも高いレートが提示レートとして配信された時に、当該注文の執行の順番である場合、当該提示レートを以って約定します。

④. 通貨別全決済注文

- ・ この注文は、保有するすべての未決済の建玉のうち、通貨ペア別にすべての建玉についてレートを指定せずに一度の操作で決済します。
- ・ この注文の執行は、受注時にお客様への提示レートとして配信したレートを以って行います。

- ・ この注文の対象となる建玉が200万通貨を超える場合は利用できません。

⑤. 全決済注文

- ・ この注文は、保有するすべての未決済の建玉のうち、通貨ペアにかかわらず、すべての建玉についてレートを指定せずに一度の操作で決済します。
- ・ この注文の執行は、受注時にお客さまへの提示レートとして配信したレートを以って行います。
- ・ この注文の対象となる建玉のうち、200万通貨を超える通貨ペアを保有している場合は、利用できません。

⑥. I F D注文・ O C O注文・ I F O注文

- ・ 注文した指値（上記②）または逆指値（上記③）に準じて取り扱います。

（4）お客さまの注文の失効に係る事項

①. ストリーミング等注文

- ・ ストリーミング等注文においては、お客さまが設定したスリッページ許容幅の許容範囲を超えている場合、当該注文は失効します。

②. 指値注文

- ・ 指値注文においては、注文の有効期限が「本日中」または「今週中」である場合には、当該期限を経過したときに当該注文は失効します。

③. 逆指値注文

- ・ 上記②と同様です。

④. 通貨別全決済注文

- ・ 通貨別全決済注文においては、既に発注されていた決済取引の注文は全て取り消されます。ただし、新規取引の注文がある場合、当該新規取引の注文は取り消されません。

⑤. 全決済注文

- ・ 上記④と同様です。

⑥. I F D注文・ O C O注文・ I F O注文

- ・ 注文した指値（上記②）または逆指値（上記③）に準じて取り扱います。

（5）注文の有効期限

有効期限の種類	説明
本日中（※）	お客さまの注文を当行が確認したときから、同一取引日の取引終了時刻までとなります。
今週中（※）	お客さまの注文を当行が確認したときから、同一週の最終取引日における取引終了時刻までとなります。
期限なし	お客さまの注文を当行が確認したときから、当該注文が約定するか、お客さまが当該注文を取消す入力（取消入力）をし、その取消入力を当行が確認したときまでとなります。

※ I F D注文および I F O注文の二次注文の有効期限は、二次注文が有効となった取引日に発注されたものとして、上記有効期限が適用されます。

(6) 注文の訂正および取消し

①. 注文の訂正および取消し

お客さまが発注した注文が約定していない場合には、注文レートおよび有効期限の訂正または注文の取消しを行うことができます。注文を訂正または取消しする場合には、お客さまは、取引システム上で訂正入力または取消入力を行ってください。訂正注文の変更回数には上限があります。なお、注文の有効期限は、発注時から一定期間経過した場合には、訂正できないことがあります。

また、当行は、お客さまの売買注文について約定しない可能性が高いと認められる場合等、当行の判断でお客さまの注文を取り消す場合があります。

②. 注文の有効期限の訂正が可能な期間

訂正前の有効期限	訂正後の有効期限	訂正できる期間
本日中	今週中	発注時点からの期間に関係なく訂正できます。
本日中	期限なし	発注時点からの期間に関係なく訂正できます。
今週中	本日中	発注当日のみ訂正が可能です。
今週中	期限なし	発注時点からの期間に関係なく訂正できます。
期限なし	本日中	発注当日のみ訂正が可能です。
期限なし	今週中	発注した週のみ訂正が可能です

なお、2. 注文執行基準(6)(7)において、「訂正」には、成立した取引の約定価格を変更することなく、本来あるべき約定価格との差額を調整することを含むものとし、「取消し」には、成立した取引を反対売買し、それにより発生する損益額に該当する額を調整することを含むものとします。

(7) 約定の取消しおよび訂正

お客さまの入力ミス等により意図しない取引であった場合等でも、お客さまは約定した取引を訂正または取消しできません。ただし、次に掲げる事由による場合には、当行の判断により本来あるべき価格での約定に訂正、または約定の取消しをする場合があります。その場合、当行からお客さまに対し、速やかにご連絡いたします。(連絡方法は取引画面内のお知らせ、Eメール、電話等、状況により異なります。)

- ①. 当行が不正と認めた取引において約定した場合
- ②. 取引規定第26条第3項の定めに該当する場合
- ③. システム障害等が発生している際に約定した場合
- ④. 法令規則等、本規定その他の当行の規定および規則に違反した取引である場合
- ⑤. その他、当行が必要と認める場合

3. 証拠金

本取引は、レバレッジ効果により比較的小額の証拠金で多額の取引ができるため、取引額が証拠金の額を上回る可能性があります。

(1) 必要証拠金の差入れ

- ①. 本取引の注文をするときは、当行が定める必要証拠金額以上の額を、円貨で取引口座に入金してください。
- ②. 必要証拠金の計算方法
必要証拠金額は、レバレッジコースに応じて当行が定める証拠金率を用いて、以下の計算式により算出されます。

【レバレッジコース】

レバレッジコースの種類	証拠金率
レバレッジ2倍コース	50.0%
レバレッジ5倍コース	20.0%
レバレッジ10倍コース	10.0%
レバレッジ25倍コース	4.0%

【計算式】

必要証拠金額

$$= \text{取引数量の最低単位} \times \text{現在のビッドレートとアスクレートの中心値} \times \text{証拠金率} \times \text{取引数量} \div 1,000 \text{ (小数点以下切り上げ)}$$

(2) 追加証拠金の差入れ

- ①. レバレッジ25倍コースにおいて証拠金維持率が100%を下回ったときは、追加証拠金が発生します（レバレッジ2倍コース、5倍コース、10倍コースにおいては発生しません。）。追加証拠金が発生したときは、原則、毎取引日の取引時間終了時点に属する日の午後6時まで、その下回った額以上の追加証拠金を入金するか、あるいは建玉の全部または一部を決済し、追加証拠金が発生した状況を解消する必要があります。ただし、取引時間終了時点に属する日が取引日に該当しない場合は、翌取引日の午後6時までとします。なお、追加証拠金が発生した後、相場の変動等によりお客さまの証拠金維持率が100%を回復した場合でも追加証拠金の解消とは扱われません。
- ②. 証拠金維持率は、以下の計算式により算出されます。

【計算式】

証拠金維持率

$$= (\text{純資産} \div \text{必要証拠金}) \times 100$$

(3) 追加証拠金を当行所定の日時までには解消しなかった場合の取扱い

当行が請求した追加証拠金をお客さまが当行所定の日時までには解消しなかった場合には、当行は、お客さまの計算においてすべての建玉を決済します（以下「強制決済」といいます。）。この場合、建玉のすべてを強制的に決済されるため、証拠金の額に損失が生じることがあります。

(4) 評価損益およびスワップポイントの取扱い

当行が行う値洗いにより発生する評価損益および建玉のロールオーバーに伴い発生するスワップポイントは、純資産額に加算または減算されます。なお、評価損益の算出に用いる評価レートは、買建玉の場合はビッドレート、売建玉の場合はアスクレートを用いて算出します。また、スワップポイントは、円貨の場合は円未満、外貨の場合は小数点2桁未満について、お客さまが受取の場合は切り捨て、支払の場合は切り上げて算出します。

(5) 有価証券等による充当

証拠金は、円貨のみによるものとし、国債、地方債および国内の金融商品取引所に上場されている有価証券等により充当することはできません。

(6) 証拠金の入金

証拠金は、当行の円普通預金口座からの振替により、リアルタイムでお客さまの取引口座に入金することができます。

(7) 証拠金の出金

差し入れている証拠金は、当行が定める振替可能額を限度として、原則としてリアルタイムでお客さまの円普通預金口座へ出金することができます。なお、建玉がある場合は、未決済建玉評価損益の金額により振替可能額も変動します。

(8) ロスカットの取扱い

未決済の本取引について、相場の変動によって生ずるお客さまの損失を限定することを目的として、一定の間隔で行う監視のタイミングにおいて、お客さまの証拠金維持率が所定の水準(以下「ロスカット水準」といいます。)に達したときは、お客さまが当行に設定した取引口座を通じて行っているすべての本取引を決済するために必要な転売または買戻しを、お客さまに事前に通知することなくお客さまの計算において当行が任意に行います(「ロスカットルール」)。

※ ロスカット水準は、レバレッジコースにかかわらず50%を初期値として設定されますが、レバレッジコースに応じた当行所定の範囲内で、当行所定の方法により、お客さまが設定を変更することもできます。

ただし、当行は、ロスカットルールによる決済を保証するものではなく、システム障害やその他の原因(以下「システム障害等」といいます。)により、予定された通りに決済されない場合もあります。また、当行がレート提示を停止した場合、その後の相場の動向によっては、レート提示再開と同時にロスカットの対象となる可能性があります。ロスカット水準は、ロスカットルールが適用され決済される水準であり、必ずその水準で証拠金が保全されることを約するものではありません。従って、システム障害等が発生した場合や当行がレート提示を停止した場合、あるいは相場が急激に変動した等の場合には、想定以上の損失が発生し、その損失が証拠金の額を上回る場合もあります。なお、ロスカットされた場合は、お客さまが注文中のすべての注文が取り消されますので、ご注意ください。

(9) 証拠金の受領に係る書面の交付

当行は、お客さまが預託すべき証拠金を受領したときは、お客さまに対し、直ちに受領した旨を記載した書面（取引報告書兼証拠金受領書）を電磁的方法により交付します。

4. スリッページ

スリッページとは、お客さまの注文時に表示されているレートまたはお客さまが注文時に指定したレートと約定レートとに相違があることをいいます。本取引においては、ASストリーミング注文およびストリーミング注文において発生します。

本取引における注文は、お客さまが取引システム画面で発注ボタンをクリックした時点において、当該画面に表示されているレートを注文レートとして発注されます。お客さまの注文を当行で受注した時の配信レートが、お客さまの注文レートと一致するか、お客さまの注文レートより有利な場合には、当該受注した時の配信レートで約定します。一方、当該受注した時の配信レートが、お客さまの注文レートより不利な場合には、お客さまの注文は失効します。ただし、お客さまが注文時にスリッページ許容範囲を設定されている場合には、当該設定範囲以内であれば、当該不利な受注をした時の配信レートで約定します。

以上の仕組みから、お客さまの注文時に取引システム画面に表示されているレート（＝注文レート）と実際の約定レートとの間に差が生じる可能性があり、当該相違は、お客さまにとって有利な場合もあれば、不利な場合もあります（不利な場合については、お客さまが設定したスリッページ許容範囲以内に限定されます。）。

5. 決済に伴う金銭の授受

反対売買を行った場合は、通貨ペアごとに、次の式により算出した金額が差金決済により受入証拠金額に加算または減算されます。

【計算式】

$$= \text{約定価格差} \times \text{取引数量}$$

(注) 約定価格差とは、反対売買の約定価格と当該反対売買の対象となった新規売買の約定価格との差をいいます。

非対円通貨ペアの場合は、建玉の決済（反対売買）が約定した時点のレートにより円貨に換算されます。

6. 取引規制

当行が取引に異常があると認める場合またはそのおそれがあると認める場合には、次のような規制措置をとることがあります。

- ① 必要証拠金の額が引き上げられることがあります。
- ② 取引数量や建玉数量、発注数量が制限されることがあります。
- ③ 取引が停止または中断されることがあります。
- ④ 取引時間が臨時に変更されることがあります。

7. 益金に係る税金

本取引で発生した利益（売買による差益およびスワップポイントの収益）は、「先物取引に係る雑所得等」として申告分離課税の対象となり、確定申告をする必要があります。税率は、所得税が15%、復興特別所得税が所得税額×2.1%※、地方税が5%となります。その損益は、差金等決済をした他の先物取引の損益と通算でき、また通算して損失となる場合は、一定の要件の下、翌年以降3年間繰り越すことができます。

※ 復興特別所得税は、2013年から2037年まで（25年間）の各年分の所得税の額に2.1%を乗じた金額（利益に対しては、0.315%）が、追加的に課税されるものです。

当行は、お客さまの本取引について差金等決済を行った場合には、原則として、当該お客さまの住所、氏名、支払金額等を記載した支払調書を当行の所轄税務署長に提出します。

詳しくは、税理士等の専門家にお問い合わせください。

8. 本契約の終了事由

本取引は、「店頭外国為替証拠金取引規定（新・楽天銀行FX取引規定）」（以下「取引規定」といいます。）第27条に掲げる解約事由のいずれかに該当したとき、または期限の利益を喪失したとき、その他当行の他の規定・規則に定める解約事由に該当したときに終了するものとします。詳しくは、取引規定をご覧ください。

本取引の手続きについて

お客さまが当行と本取引を行う際の手続きの概要は、次のとおりです。

(1) 取引の開始

①. 本取引説明書の交付を受ける

はじめに、当行から『店頭外国為替証拠金取引に係るご注意』（注意喚起文書）および本取引説明書が交付されますので、本取引の概要やリスクについて十分ご理解ください。また、ご自身の判断と責任において取引を行う旨の『お取引に関する確認書』を電磁的方法により差し入れていただきます。

②. 取引口座の設定

本取引の開始に当たっては、あらかじめ取引規定に同意していただき、取引口座を設定していただきます。なお、取引口座を開設するには、一定の投資経験、知識、資力等が必要です。

③. レバレッジコースおよびロスカット水準の設定

本取引においては、取引口座の設定時に、レバレッジコースを設定することができます（取引口座の設定時にロスカット水準は変更できません。）。なお、取引口座の設定後は、レバレッジコースおよびロスカット水準のいずれの設定も変更することができます。

(2) 注文の指示事項

取引の注文をするときは、当行が別途定める取引日、取引時間内に、次の事項を取引システムに正確に指示してください。なお、電話、FAX、電子メール等の取引システム以外の方法により注文することはできません。

- ①. 注文する通貨ペア
- ②. 売付けまたは買付けの別
- ③. 新規・決済の別（ASストリーミング注文を除きます。）
- ④. 注文数量
- ⑤. 注文の種類および関連する事項価格
- ⑥. 注文レート
- ⑦. 注文の有効期限

(3) 証拠金の差入れ

本取引において注文をするときは、当行に所定の証拠金を差し入れていただきます。また、証拠金に一定限度を超える不足額が生じる等、証拠金の追加差入れが必要なときは、これに応じさせていただきます。

(4) 建玉の決済

建玉の反対売買に相当する取引が成立した場合には、転売または買戻しとし、取引数量分が建玉から減少します。

(5) 両建て

同一通貨ペアの売建玉と買建玉を同時に持つこと（以下「両建て」といいます。）については、AS ストリーミング注文を除き、お客さまより申出があった場合には受け付けますが、両建ては、お客さまにとって、ビッドレートとアスクレートの差、手数料および証拠金を二重に負担すること、支払いのスワップポイントと受取りのスワップポイントの差を負担すること等のデメリットがあり、経済合理性を欠くおそれがあります。

(6) 注文をした取引の成立

注文をした取引が成立したときは、当行は成立した取引の内容を明らかにした取引報告書兼証拠金受領書をお客さまに交付します。

(7) 手数料等その他お客さまが支払うべき対価に関する事項

本取引に関する手数料は無料です。ただし、お客さまが負担する取引コストとして、ビッドレートとアスクレートの差であるスプレッドがあります。

(8) 取引残高、建玉、証拠金等の報告

当行は、取引状況をご確認いただくため、取引成立のつど、また、報告対象期間において成立した取引の内容ならびに報告対象期間の末日における建玉、証拠金およびその他の未決済勘定の現在高を記載した報告書を作成して、お客さまに交付します。

なお、当行から本取引に関して電子メールにより通知する場合であっても、その到達についていかなる保証もしません。

(9) 電磁的方法による書面の交付

当行は、お客さまに対し法令規則等に基づき書面を交付する場合には、『電磁的交付等サービス規定』の定めに従い交付します。お客さまは、当該書面を受け取ったときは、その記載内容を確認するものとし、当該書面の内容に相違または疑義があるときは、遅滞なく、当行に照会するものとします。

(10) その他

当行からの通知書や報告書の内容は必ずご確認の上、万一、記載内容に相違または疑義があるときは、速やかに当行に直接ご照会ください。

本取引の仕組み、取引の手続き等について、詳しくは当行にお尋ねください。

店頭外国為替証拠金取引行為に関する禁止行為

金融商品取引業者等は、金融商品取引法により、お客さまを相手方とした店頭外国為替証拠金取引、またはお客さまのために店頭外国為替証拠金取引の媒介、取次ぎもしくは代理を行う行為（以下「店頭外国為替証拠金取引行為」といいます。）に関して、次のような行為が禁止されていますので、ご注意ください。

- a. 店頭外国為替証拠金取引契約（お客さまを相手方とし、またはお客さまのために店頭外国為替証拠金取引行為を行うことを内容とする契約をいいます。以下同じです。）の締結またはその勧誘に関して、お客さまに対し虚偽のことを告げる行為
- b. お客さまに対し、不確実な事項について断定的判断を提供し、または確実であると誤解させるおそれのあることを告げて店頭外国為替証拠金取引契約の締結を勧誘する行為
- c. 店頭外国為替証拠金取引契約の締結の勧誘の要請をしていないお客さまに対し、訪問または電話をかけて、店頭外国為替証拠金取引契約の締結の勧誘をする行為（ただし、金融商品取引業者等が継続的取引関係にあるお客さま（勧誘の日前1年間に、2以上の店頭金融先物取引のあった者および勧誘の日に未決済の店頭金融先物取引の残高を有する者に限ります。）に対する勧誘および外国貿易その他の外国為替取引に関する業務を行う法人に対する為替変動リスクのヘッジのための勧誘は禁止行為から除外されます。）
- d. 店頭外国為替証拠金取引契約の締結につき、その勧誘に先立って、お客さまに対し、その勧誘を受ける意思の有無を確認することをしないで勧誘をする行為
- e. 店頭外国為替証拠金取引契約の締結につき、お客さまがあらかじめ当該店頭外国為替証拠金取引契約を締結しない旨の意思（当該勧誘を引き続き受けることを希望しない旨の意思を含みます。以下同じです。）を表示したにもかかわらず、当該勧誘をする行為または勧誘を受けたお客さまが当該店頭外国為替証拠金取引契約を締結しない旨の意思を表示したにもかかわらず、当該勧誘を継続する行為
- f. 店頭外国為替証拠金取引契約の締結または解約に関し、お客さまに迷惑を覚えさせるような時間に電話または訪問により勧誘する行為
- g. 店頭外国為替証拠金取引について、お客さまに損失が生ずることになり、またはあらかじめ定めた額の利益が生じないこととなった場合には自己または第三者がその全部もしくは一部を補てんし、または補足するため当該お客さままたは第三者に財産上の利益を提供する旨を、当該お客さままたはその指定した者に対し、申し込み、もしくは約束し、または第三者に申し込ませ、もしくは約束させる行為
- h. 店頭外国為替証拠金取引について、自己または第三者がお客さまの損失の全部もしくは一部を補てんし、またはお客さまの利益に追加するため当該お客さままたは第三者に財産上の利益を提供する旨を、当該お客さままたはその指定した者に対し、申し込み、もしくは約束し、または第三者に申し込ませ、もしくは約束させる行為
- i. 店頭外国為替証拠金取引について、お客さまの損失の全部もしくは一部を補てんし、またはお客さまの利益に追加するため、当該お客さままたは第三者に対し、財産上の利益を提供し、または第三者に提供させる行為
- j. 本取引説明書の交付に際し、本取引説明書の内容について、お客さまの知識、経験、財産の状況および

店頭外国為替証拠金取引契約を締結する目的に照らして当該お客さまに理解されるために必要な方法および程度による説明をしないこと

- k. 店頭外国為替証拠金取引契約の締結またはその勧誘に関して、重要な事項につき誤解を生ぜしめるべき表示をする行為
- l. 店頭外国為替証拠金取引契約につき、お客さまもしくはその指定した者に対し、特別の利益の提供を約し、またはお客さまもしくは第三者に対し特別の利益を提供する行為（第三者をして特別の利益の提供を約させ、またはこれを提供させる行為を含みます。）
- m. 店頭外国為替証拠金取引契約の締結または解約に関し、偽計を用い、または暴行もしくは脅迫をする行為
- n. 店頭外国為替証拠金取引契約に基づく店頭外国為替証拠金取引行為をすることその他の当該店頭外国為替証拠金取引契約に基づく債務の全部または一部の履行を拒否し、または不当に遅延させる行為
- o. 店頭外国為替証拠金取引契約に基づくお客さまの計算に属する金銭、有価証券その他の財産または証拠金その他の保証金を虚偽の相場を利用することその他不正の手段により取得する行為
- p. 店頭外国為替証拠金取引契約の締結を勧誘する目的があることをお客さまにあらかじめ明示しないで当該お客さまを集めて当該店頭外国為替証拠金取引契約の締結を勧誘する行為
- q. あらかじめお客さまの同意を得ずに、当該お客さまの計算により店頭外国為替証拠金取引をする行為
- r. 個人である金融商品取引業者もしくは登録金融機関または金融商品取引業者もしくは登録金融機関の役員（役員が法人であるときは、その職務を行うべき社員を含みます。）もしくは使用人が、自己の職務上の地位を利用して、お客さまの店頭外国為替証拠金取引に係る注文の動向その他職務上知り得た特別の情報に基づいて、または専ら投機的利益の追求を目的として店頭外国為替証拠金取引をする行為
- s. 店頭外国為替証拠金取引行為につき、お客さまから資金総額について同意を得た上で、売買の別、通貨の組合せ、数量および価格のうち同意が得られないものについては、一定の事実が発生した場合に電子計算機による処理その他のあらかじめ定められた方式に従った処理により決定され、金融商品取引業者等がこれらに従って、取引を執行することを内容とする契約を締結する場合において、当該契約を書面により締結しないこと（電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法により締結する場合を除きます。）
- t. 店頭外国為替証拠金取引行為につき、お客さまに対し、当該お客さまが行う店頭外国為替証拠金取引の売付または買付と対当する取引（これらの取引から生じ得る損失を減少させる取引をいいます。）の勧誘その他これに類似する行為をすること
- u. 通貨関連デリバティブ取引（店頭外国為替証拠金取引を含みます。V.において同じ。）につき、お客さまが預託する証拠金額（計算上の損益を含みます。）が金融庁長官が定める額（平成22年8月1日以降は想定元本の2%、平成23年8月1日以降は同じく4%。V.において同じ。）に不足する場合に、取引成立後直ちに当該お客さまにその不足額を預託させることなく当該取引を継続すること
- v. 通貨関連デリバティブ取引につき、営業日ごとの一定の時刻におけるお客さまが預託した証拠金額（計算上の損益を含みます。）が金融庁長官が定める額に不足する場合に、当該お客さまにその不足額を預

託させることなく取引を継続すること

- w. お客さまにとって不利なスリッページが発生する場合（注文時の価格より約定価格の方がお客さまにとって不利な場合）には、お客さまにとって不利な価格で取引を成立させる一方、お客さまにとって有利なスリッページが発生する場合（注文時の価格より約定価格の方がお客さまにとって有利な場合）にも、お客さまにとって不利な価格で取引を成立させること
- x. お客さまにとって不利な価格で取引を成立させるスリッページの範囲を、お客さまにとって有利な価格で取引を成立させるスリッページの範囲よりも広く設定すること（お客さまがスリッページを指定できる場合に、お客さまにとって不利な価格で取引を成立させるスリッページの範囲が、お客さまにとって有利な価格で取引を成立させるスリッページの範囲よりも広くなるよう設定しておくことを含みます。）
- y. お客さまにとって不利なスリッページが発生する場合に成立させる取引額の上限を、お客さまにとって有利なスリッページが発生する場合に成立させる取引額の上限よりも大きく設定すること

当行の概要および苦情受付・苦情処理・紛争解決について

(1) 当行の概要

当行の概要は次のとおりです。

商号	楽天銀行株式会社
登録番号	登録金融機関 関東財務局長（登金）第609号
本店所在地	〒108-0075 東京都港区港南二丁目16番5号
	代表取締役社長 永井 啓之
設立年月日	2000年1月14日
資本金	25,954 百万円（2018年8月25日現在）
加入する協会	一般社団法人金融先物取引業協会、日本証券業協会
登録金融機関業務の内容 および方法の概要	【店頭外国為替証拠金取引】 店頭外国為替証拠金取引「新・楽天銀行FX」をオンライン取引で提供 【金融商品仲介】 楽天証券株式会社からの委託をうけ、オンラインによる楽天証券株式会社の 総合証券取引口座開設の申込手続きの受付、および楽天証券株式会社が取扱 う有価証券等の取引の案内
主な事業	銀行業

(2) 苦情受付窓口

当行は、お客さまからの苦情を次の窓口で受け付けております。

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:00 ※ 祝日、12月31日～1月3日を除く

窓口：楽天銀行 カスタマーセンター（貯蓄・運用窓口）

受付方法：0120-386-910（通話料無料）携帯電話・PHS等からは

0570-051-910（通話料有料）国際電話をご利用の場合は03-6832-2273（通話料有料）

(3) 苦情処理・紛争解決

当行とお客さまとの間で、解決に至らない問題が発生した場合には、解決手段のひとつとして金融ADRという制度がございます。

金融ADRは、行政庁が指定・監督する紛争解決機関（指定紛争解決機関といいます。）が関与し、同機関に所属する金融分野に見識のある弁護士などの専門家が、中立・公平な立場から和解案を提示して、紛争の解決を図る制度です。

詳細については、下記の指定紛争解決機関までお問い合わせください。

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

電話番号 : 0120-64-5005 (フリーダイヤル)

受付日 : 月～金曜 (祝日および銀行の休業日を除く)

URL : <http://www.finmac.or.jp/>

一般社団法人 全国銀行協会 全国銀行協会相談室

電話番号 : 0570-017109 (ナビダイヤル) または

03-5252-3772 (通話料有料)

受付日 : 月曜日～金曜日 9:00～17:00 ※ 祝日および銀行の休業日を除く

URL : <http://www.zenginkyo.or.jp>

本取引に関する主要な用語

- ・ 建玉（たてぎよく）

新規で発注された取引により生じた売建玉および買建玉の持ち高をいいます。ポジションともいいます。

- ・ 買建玉（かいたてぎよく）

買付取引のうち、決済が終了していないものをいいます。買ポジションともいいます。

- ・ 売建玉（うりたてぎよく）

売付取引のうち、決済が終了していないものをいいます。売ポジションともいいます。

- ・ 買気配

金融商品取引業者等が価格を示して特定数量の商品を買い付ける旨の申出をすることをいいます。お客さまはその価格で売り付けることができます。ビッドレートともいいます。

- ・ 売気配

金融商品取引業者等が価格を示して特定数量の商品を売り付ける旨の申出をすることをいいます。お客さまはその価格で買い付けることができます。アスクレートともいいます。

- ・ 買戻し（かいもどし）

決済（反対売買）のうち、売建玉を減らすために行う買付取引をいいます。

- ・ 転売（てんばい）

決済（反対売買）のうち、買建玉を減らすために行う売付取引をいいます。

- ・ カバー取引（カバーとりひき）

金融商品取引業者等が、お客さまを相手方として行う本取引の価格変動によるリスクの減少を目的として、当該本取引と取引対象通貨、売買の別等が同じ市場デリバティブ取引または他の金融商品取引業者等その他の者を相手方として行う為替取引または店頭外国為替証拠金取引をいいます。

- ・ 金融商品取引業者（きんゆうしょうひんとりひきぎょうしゃ）

店頭外国為替証拠金取引を含む金融商品取引を取り扱う業務について、金融商品取引法による登録を受けた者をいいます。

- ・ 登録金融機関（とうろくきんゆうきかん）

店頭外国為替証拠金取引を含む金融商品取引を取り扱う業務について、金融商品取引法による登録を受けた銀行、協同組織金融機関その他政令で定める金融機関をいいます。

- ・ 裁判外紛争解決制度（さいばんがいふんそうかいけつせいど）

訴訟手続きによらず、民事上の紛争を解決しようとする紛争の当事者のため、公正な第三者が関与して、その解決を図る手続きをいいます。ADRともいいます。

- ・ 受渡決済（うけわたしけっさい）

店頭外国為替証拠金取引の場合は、売付けた通貨を引き渡して買付けた通貨を受け取ることにより決済する方法をいい、現物決済ともいいます。なお、本取引では受渡決済によることはできません。

- ・ 差金決済（さきんけっさい）

建玉の決済にあたり、現物の受渡しをせず、算出された損失または利益に応じた差金を授受することによる決済

方法をいいます。

・証拠金（しょうきん）

本取引を行うにあたり、お客さまが当行に対して負担する本取引に係る一切の債務の履行を担保することを目的として、あらかじめ差し入れる保証金をいいます。証拠金には、取引の注文にあたり事前に差し入れる証拠金と自己の建玉を維持するための証拠金（必要証拠金）の区分があります。この場合、お客さまが差し入れている証拠金額が必要証拠金額を下回った場合には、当初証拠金の水準まで追加証拠金を差し入れなければなりません。

・受入証拠金（うけいれしょうきん）

お客さまが、当行に差し入れた証拠金をいいます。

・追加証拠金（つかしょうきん）

証拠金残高が相場の変動により自己の建玉を維持するのに必要な金額（必要証拠金額）を下回った場合に追加して差し入れなければならない証拠金をいいます。

・証拠金率（しょうきんりつ）

必要証拠金額を割合であらわしたものをいいます。本取引においては、レバレッジコースに応じて当行が定める値が適用されます。

・証拠金維持率（しょうきんいじりつ）

必要証拠金に対する純資産の割合をいい、以下の計算式により算出されます。この割合が、当行が定める一定の水準を下回った場合には、ロスカットルールが適用されます。

【計算式】

$$\text{証拠金維持率} = (\text{純資産} \div \text{必要証拠金}) \times 100$$

・純資産（じゅんしさん）

受入証拠金に、受入証拠金に反映されていない建玉およびスワップポイントの評価損益ならびに建玉の決済が行われたことにより損益が確定したものの、受渡日が到来していないことにより受入証拠金に反映されていない損益を加えたものをいい、以下の計算式により算出されます。

【計算式】

$$\text{純資産} = \text{受入証拠金} + \text{未決済建玉評価損益} + \text{未受渡決済スワップ損益} + \text{未受渡売買損益}$$

・未受渡売買損益（みうけわたしばいばいそんえき）

建玉の決済が行われたことにより損益が確定したものの、受渡日が到来していないことにより受入証拠金に反映されていない損益を加えたものをいいます。

・未受渡スワップ損益（みうけわたしすわっぷそんえき）

受渡日が到来していないことにより受入証拠金に反映していないスワップポイントの損益をいいます。

・未決済建玉評価損益（みけっさいたてぎょくひょうかそんえき）

買建玉および売建玉に係る評価損益をいいます。

・有効証拠金（ゆうこうしょうきん）

純資産から、現に保有している建玉に係る必要証拠金と現に注文中の必要証拠金を差し引いたものをいい、以下の計算式により算出されます。

【計算式】

$$\text{有効証拠金} = \text{純資産} - (\text{必要証拠金} + \text{注文中証拠金})$$

・注文中証拠金（ちゅうもんちゅうしょうきん）

注文中の必要証拠金のことをいいます。

・スワップポイント

店頭外国為替証拠金取引におけるロールオーバーは、当該営業日に係る決済日から翌営業日に係る決済日までの売付通貨の借入れおよび買付通貨の貸付けを行ったことと実質的に同じであると考えられます。ロールオーバーにより決済期日が繰り越された場合に、通貨ペア間の金利差を調整するために、その差に基づいて算出される額をスワップポイントといいます。なお、スワップポイントは、お客さまが受け取る場合と支払う場合の双方があり、また、結果として損失が生じることとなるおそれもあります。

・スリッページ

お客さまの注文時に表示されている価格またはお客さまが注文時に指定した価格と約定価格とに相違があることをいいます。本取引においては、ASストリーミング注文およびストリーミング注文において発生します。

・デリバティブ取引（デリバティブとりひき）

その価格が取引対象の価値（数値）に基づき派生的に定まる商品の取引をいいます。先物取引およびオプション取引を含みます。

・店頭外国為替証拠金取引（てんとうがいかくかわせしょうきんとりひき）

通貨を売買する外国為替取引（または通貨の価格に基づき算出される金融指標の取引）と取引金額よりも少額の証拠金を預託して大きな取引を行う証拠金取引を合成した取引をいい、店頭デリバティブ取引の一つです

・店頭デリバティブ取引（てんとうデリバティブとりひき）

金融商品取引所が開設する取引所金融商品市場および外国金融商品市場によらずに行われるデリバティブ取引をいいます。

・特定投資家（とくていとうしか）

店頭金融先物取引を含む有価証券に対する投資に係る専門的知識および経験を有すると認められる適格機関投資家、国、日本銀行等をいいます。一定の要件を満たす個人は特定投資家として取り扱うよう申し出ることができ、一定の特定投資家は特定投資家以外のお客さまとして取り扱うよう申し出ることができます。ただし、当行では特定投資家についてはお取扱いしておりません。

・値洗い（ねあらい）

建玉について、毎日の市場価格の変化に伴い、評価替えする手続きを値洗いといいます。

・両建て（りょうだて）

同一通貨ペアの売建玉と買建玉を同時に持つことをいいます。

- ・ロスカット

お客様の損失が所定の水準に達した場合、金融商品取引業者等が、リスク管理のため、お客様の建玉を強制的に決済することをいいます。

- ・ロールオーバー

店頭外国為替証拠金取引において、同一営業日中に決済取引（反対売買）されなかった建玉を翌営業日に繰り越すことをいいます。

- ・レバレッジ

店頭外国為替証拠金取引においては、証拠金に対してどれくらいの外貨を売買できるかという資産効率を表し、以下の計算式により算出されます。一般的に、レバレッジの値が大きいほど資金効率が良く、比較的少額の資金（証拠金）で大きな取引ができますが、その分リスクも大きくなります。

【計算式】

レバレッジ = 取引額 ÷ 必要証拠金額

(連絡先)

楽天銀行 カスタマーセンター（貯蓄・運用窓口）

0120-386-910（通話料無料） 携帯電話・PHS等からは

0570-051-910（通話料有料）国際電話をご利用の場合は

03-6832-2273（通話料有料）

月曜日～金曜日 9:00～17:00 ※ 祝日、12月31日～1月3日を除く

本取引に関するお問い合わせは、上記の連絡先で承ります。

店頭外国為替証拠金取引ルール

(新・楽天銀行FX取引ルール)

1. 取引日および取引時間

取引日は、原則として、土曜日、日曜日および1月1日以外とします。また、取引時間は、次の表に掲げるとおりです。ただし、クリスマス時期等、世界的な休日によりインターバンク市場が東京時間のみ開いている等の場合には、当行の判断において取引の終了時間を繰り上げる場合があります。

取引日と取引時間	月曜日	火曜日～金曜日	取引停止時間
通常期間の1取引日における取引時間	午前7時00分 ～ 翌日午前6時55分	午前7時10分 ～ 翌日午前6時55分	午前6時55分 ～ 午前7時10分
米国サマータイム期間の1取引日における取引時間	午前7時00分 ～ 翌日午前5時55分	午前6時10分 ～ 翌日午前5時55分	午前5時55分 ～ 午前6時10分

2. 取引通貨ペア・取引単位・呼び値の最小変動幅等

取引通貨ペア	英語表記	取引数量の最低単位	必要証拠金(証拠金率)	レート呼び値の最低単位	現地通貨	
ドル/円	USD/JPY	1,000ドル	レバレッジ 25 倍コース →4.0%	0.1 銭	日本円	
ユーロ/円	EUR/JPY	1,000 ユーロ		0.1 銭	日本円	
ポンド/円	GBP/JPY	1,000 ポンド		0.1 銭	日本円	
豪ドル/円	AUD/JPY	1,000 豪ドル		0.1 銭	日本円	
NZドル/円	NZD/JPY	1,000 NZドル		0.1 銭	日本円	
ランド/円	ZAR/JPY	1,000 ランド		0.1 銭	日本円	
カナダドル/円	CAD/JPY	1,000 カナダドル		0.1 銭	日本円	
スイス/円	CHF/JPY	1,000 スイス		0.1 銭	日本円	
香港ドル/円	HKD/JPY	1,000 香港ドル		レバレッジ 10 倍コース →10.0%	0.1 銭	日本円
SGドル/円	SGD/JPY	1,000 SGドル		0.1 銭	日本円	
ユーロ/ドル	EUR/USD	1,000 ユーロ	レバレッジ 5 倍コース →20.0%	0.00001ドル	ドル	
ポンド/ドル	GBP/USD	1,000 ポンド	0.00001ドル	ドル		
豪ドル/ドル	AUD/USD	1,000 豪ドル	レバレッジ 2 倍コース →50.0%	0.00001ドル	ドル	
NZドル/ドル	NZD/USD	1,000 NZドル	0.00001ドル	ドル		
ドル/スイス	USD/CHF	1,000ドル	0.00001 スイス	スイス		
ポンド/スイス	GBP/CHF	1,000 ポンド	0.00001 スイス	スイス		
ユーロ/ポンド	EUR/GBP	1,000 ユーロ	0.00001 ポンド	ポンド		
ユーロ/スイス	EUR/CHF	1,000 ユーロ	0.00001 スイス	スイス		
豪ドル/スイス	AUD/CHF	1,000 豪ドル	0.00001 スイス	スイス		

NZドル/スイス	NZD/CHF	1,000 NZドル	0.00001 スイス	スイス
豪ドル/NZドル	AUD/NZD	1,000 豪ドル	0.00001NZドル	NZドル
N クローネ/円	NOK/JPY	1,000 N クローネ	0.1 銭	日本円
トルコリラ/円	TRY/JPY	1,000トルコリラ	0.1 銭	日本円
人民元/円	CNH/JPY	1,000 人民元	0.1 銭	日本円
ドル/カナダドル	USD/CAD	1,000ドル	0.00001カナダドル	カナダドル
メキシコペソ/円	MXN/JPY	1,000 メキシコペソ	0.1 銭	日本円

※ 上記の表において「ドル」とだけ記載されている通貨は「米ドル」を、「ポンド」と記載されている通貨は「英ポンド」を、「スイス」と記載されている通貨は「スイスフラン」を指します。

3. 取引数量の上限

1 取引あたりの発注上限	通貨ペアに関係なく一律 200 万通貨
注文および保有する建玉の数量の上限	注文および保有する建玉の最大合計額が 30 億円相当額(リアルタイムで円換算された金額)を超えるときは、新規取引を発注することはできません。

4. 注文方法

注文方法	説明
AS ストリーミング注文	<p>AS とは、Auto Select (オートセレクト) の略称であり、リアルタイムで提示されているレートで売買が発注された注文をシステムが自動的に新規・決済の判断を行う注文方法です。なお、AS ストリーミング注文をご利用になる場合、あらかじめ取引画面から次の設定を行っていただく必要があります。</p> <p>《AS ストリーミング注文に関する設定》</p> <p>① AS ストリーミング注文の利用の可否 AS ストリーミング注文を「利用する」に設定してください。</p> <p>② 建玉を決済する順番 建玉を決済する順番は、次の 4 種類の決済パターンの中からお客さまがあらかじめ指定した方式により、決済建玉をシステムが自動的に選択します。</p> <p>◆ LIFO 順: Last In First Out (ラスト・イン・ファースト・アウト) 新しい建玉から順番に決済 (初期設定)</p> <p>◆ FIFO 順: First In First Out (ファースト・イン・ファースト・アウト) 古い建玉から順番に決済</p> <p>◆ P&L 損順: Profit and Loss (プロフィット・アンド・ロス) 取引単位あたりの損失額が大きい (または利益額が小さい) ものから決済 (なお、スワップポイントは計算に含みません。)</p> <p>◆ P&L 益順: Profit and Loss (プロフィット・アンド・ロス) 取引単位あたりの利益額が大きい (または損失額が小さい) ものから決済 (なお、スワップポイントは計算に含みません。)</p>

	<p>③ 約定していない注文の自動キャンセルルール</p> <p>AS ストリーミング注文により発注した場合、次の 2 種類からお客さまがあらかじめ指定した発注済の指値、逆指値等の注文を取り消す範囲の指示に基づきシステムが自動的に取り消します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 通貨ペアにかかわらず、約定していない指値・逆指値(複合注文を含みます。)注文を全て取り消す。 ◆ AS ストリーミング注文により発注した通貨ペアのみを対象とする指値・逆指値(複合注文を含みます。)のみを取り消す。 <p>《AS ストリーミング注文に関する注意事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 両建て(同一通貨ペアで売りと買いの両方の新規建玉を保有することをいいます。)となる注文はできません。 ◆ 保有する建玉がある場合、その建玉の反対の売買注文は自動的に決済注文となります。
ストリーミング注文	<p>リアルタイムで提示されているレートにて売買する注文方法です。AS ストリーミング注文と異なり、新規、決済の別をご選択いただく必要があります。ストリーミング注文では、新規注文と同時に決済注文を発注することができます。決済注文の発注は新規注文の約定レートからの値幅を指定して行います。その際、利益幅のみを指定した場合は指値注文、損失幅のみを指定した場合は逆指値注文、トレール幅のみを指定した場合はトレール注文、利益幅および損失幅(またはトレール幅)を指定した場合は OCO 注文として扱われます。</p>
指値注文	<p>レートを指定して発注する注文です。買付け注文時は発注時のビッドレートより低く、売付け注文時は発注時のアスクレートよりも高いレートを指定してください。したがって、指値注文を発注する時点でのビッドレートまたはアスクレートと同一の注文レートやスプレッドの範囲内のレートでの注文は発注できません。</p> <p>なお、指値注文は、当行の提示レートが当該注文のレートに達した時点で当該注文レートで約定します。ただし、有効期限が「本日中」以外の指値注文を発注し、その指値注文が翌取引日以降に持ち越され、取引時間の開始と同時に当行の提示レートが当該指値注文のレートに達した場合、または超えている場合は、当該提示レートで約定します。</p>
逆指値注文	<p>レートを指定して発注する注文です。買付け注文時は発注時のアスクレートよりも高く、売付け注文時は発注時のビッドレートよりも低いレートを指定してください。</p> <p>なお、逆指値注文は、当行の提示レートが発注した逆指値注文のレートに達した場合、または超えた場合は、その当行の提示レートで約定します。</p>
トレール注文	<p>当行の提示レートからの値幅(トレール幅)を指定し、相場がお客さまにとって有利な方向に動いた場合、指定したトレール幅を保ちながら注文レートが自動的に更新される、決済の逆指値注文です。</p> <p>(例) 買いの建玉に対してトレール注文(売り)を発注した場合、当行の提示レートが上昇した場合にトレール注文のレートが自動で引き上がっていきませんが、相場が下落した場合は相場に追従しません。そして指定したトレール幅以上に相場がお客さまにとって不利な方向に進んだ時点で、その時の当行提示レートで約定します(買い注文時はその逆です)。</p>

通貨別全決済注文 (※)通貨別全決済注文の対象となる建玉が 200 万通貨を超える場合は、利用できません。	保有するすべての未決済の建玉のうち、通貨ペア別にすべての建玉についてレートを指定せずに一度の操作で決済する場合の注文方法です。一度の操作で発注できますので、相場急変時にも時間をかけずに複数の建玉を同時に発注できます。通貨別全決済注文はレートを指定せず発注されますので、発注したときのレートで約定するとは限りません。また、通貨別全決済注文を発注した場合、その対象となった通貨ペアのうち発注済の決済注文は全て取り消されますが、新規注文がある場合、当該新規注文は取り消されませんのでご注意ください。
全決済注文 (※)全決済注文の対象となる建玉のうち 200 万通貨を超える通貨ペアを保有している場合は、利用できません。	保有するすべての未決済の建玉を、通貨ペアにかかわらず、レートを指定せずに一度の操作で決済する場合の注文方法です。一度の操作で発注できますので、相場急変時にも時間をかけずに複数の建玉を同時に発注できます。全決済注文はレートを指定せず発注されますので、発注したときのレートで約定するとは限りません。また、全決済注文を発注した場合、発注済の決済注文は全て取り消されますが、新規注文がある場合、当該新規注文は取り消されませんのでご注意ください。
IFD 注文	IFD とは、If-Done(イフ・ダン)の略です。新規注文(一次注文)とそれを対象とした決済注文(二次注文)を セットで発注する注文方法です。一次注文は指値注文および逆指値注文を選択することができ、二次注文は、指値注文、逆指値注文、トレール注文から選択することができます。最初は一次注文だけが有効であり、これが約定した場合に決済するための二次注文が自動的に有効になります。
OCO 注文	OCO とは、One Cancel Other(ワン・キャンセル・アザー)の略です。2 つの注文(新規注文の場合は指値注文、逆指値注文から、決済注文の場合は、指値注文、逆指値注文、トレール注文から選択)を同時に出し、どちらか一方の注文が約定した場合、もう一方の注文を自動的に取消する注文方法です。
IFO 注文	IFD 注文と OCO 注文を組み合わせた注文方法です。新規注文(一次注文)の指値(逆指値)が約定すると、決済注文(二次注文)の OCO 注文が自動的に有効になります。

5. 追加証拠金の発生時間と解消方法

レバレッジ 25 倍コースにおいて、毎取引日の取引時間終了時点におけるビッドレートとアスクレートの中心値を基準に算出された必要証拠金に対する純資産の割合(以下「証拠金維持率」といいます。)が 100%を下回ったときは、追加証拠金が発生します(レバレッジ 2 倍コース、5 倍コース、10 倍コースにおいては発生しません)。追加証拠金が発生したときは、原則、毎取引日の取引時間終了時点に属する日の午後 6 時まで、その下回った額以上の追加証拠金を入金するか、あるいは建玉の全部または一部を決済し、追加証拠金が発生した状況を解消する必要があります。ただし、取引時間終了時点に属する日が取引日に該当しない場合は、翌取引日の午後 6 時までとします。なお、追加証拠金が発生した後、相場の変動等によりお客さまの証拠金維持率が 100%を回復した場合でも追加証拠金が発生した状況の解消とは扱われません。

	追加証拠金発生時間	追加証拠金の解消期限
火曜日～金曜日	午前 6 時 55 分(午前 5 時 55 分) ^{※1}	同日午後 6 時 ^{※2}
土曜日	午前 6 時 55 分(午前 5 時 55 分) ^{※1}	翌月曜日の午後 6 時 ^{※2}

※1 「追加証拠金発生時間」の項目のカッコ内は、米国がサマータイムの場合

※2 当該日が取引日でない場合は翌取引日

6. レバレッジコースと証拠金率

レバレッジコースは、「レバレッジ 25 倍コース」「レバレッジ 10 倍コース」「レバレッジ 5 倍コース」「レバレッジ 2 倍コース」の 4 種類から取引口座の開設時にお選びいただけます。また、設定したレバレッジコースは取引システムにおいて変更することができます。なお、証拠金率はレバレッジコースごとに固定されており、お客さまが変更することはできません。

レバレッジコースの種類	証拠金率
レバレッジ 2 倍コース	50.0%
レバレッジ 5 倍コース	20.0%
レバレッジ 10 倍コース	10.0%
レバレッジ 25 倍コース	4.0%

※ 注文中の注文または保有する建玉がある場合、レバレッジを下げるコース変更はできません。

例えば、レバレッジ 25 倍コースからレバレッジ 10 倍コースに変更する場合

※ 取引停止時間、保守、障害その他本取引の停止中は変更できません。

7. ロスカット水準の変更

ロスカット水準は、取引システムにおいて変更することができます（取引口座の開設時は、レバレッジコースにかかわらず 50%を初期値として設定されます。）。ただし、次の表に掲げるとおり、レバレッジコースごとに選べるロスカット水準の設定値は異なります。

（○印＝設定可能／×印＝設定不可 カッコ内はロスカットされる証拠金維持率）

ロスカット水準 設定値	レバレッジ 25 倍コース	レバレッジ 10 倍コース	レバレッジ 5 倍コース	レバレッジ 2 倍コース
95%	○(3.8%)	○(9.5%)	○(19.0%)	○(47.5%)
90%	○(3.6%)	○(9.0%)	○(18.0%)	○(45.0%)
85%	○(3.4%)	○(8.5%)	○(17.0%)	○(42.5%)
80%	○(3.2%)	○(8.0%)	○(16.0%)	○(40.0%)
75%	○(3.0%)	○(7.5%)	○(15.0%)	○(37.5%)
70%	○(2.8%)	○(7.0%)	○(14.0%)	○(35.0%)
65%	○(2.6%)	○(6.5%)	○(13.0%)	○(32.5%)
60%	○(2.4%)	○(6.0%)	○(12.0%)	○(30.0%)
55%	○(2.2%)	○(5.5%)	○(11.0%)	○(27.5%)
50% (初期値)	○(2.0%)	○(5.0%)	○(10.0%)	○(25.0%)
45%	×	○(4.5%)	○(9.0%)	○(22.5%)
40%	×	○(4.0%)	○(8.0%)	○(20.0%)
35%	×	×	○(7.0%)	○(17.5%)
30%	×	×	○(6.0%)	○(15.0%)
25%	×	×	○(5.0%)	○(12.5%)
20%	×	×	○(4.0%)	○(10.0%)

※ 注文中の注文または保有する建玉がある場合、ロスカット水準の設定値のみを上げる変更はできません。

例えば、ロスカット水準を 20%から 95%に変更する場合

※ 注文中の注文または保有する建玉がある場合、レバレッジコースとロスカット水準を同時に変更する場合、変更後のロスカットされる証拠金維持率（上記の表のうちカッコ内の値）が、変更前の値よりも大きい値となる変更はできません。

例えば、レバレッジ 2 倍コース・ロスカット水準 20%に設定されている場合に、レバレッジ 5 倍コース・ロスカット水準 55%に変更する場合、変更前の値（10.0%）よりも変更後の値（11.0%）の値の方が大きくなるため、変更できません。

※ 取引停止時間、保守、障害その他本取引の停止中は変更できません。

8. プレアラート通知・アラート通知

お客様の証拠金維持率が、設定されているロスカット水準に対して一定の水準となった時点で、その事実をプレアラート通知またはアラート通知として登録メールアドレス宛に通知します。これらの通知はロスカット水準の設定値と連動しており、プレアラート通知は、証拠金維持率がロスカット水準の設定値+50%未満となった場合、アラート通知は、証拠金維持率がロスカット水準の設定値+20%未満となった場合に送信されます。

もっとも、判断基準となる純資産の評価は一定の間隔で行っており、純資産の評価のタイミング、回線の通信速度、障害または通信環境の変化等により、遅延や不着等が発生する場合があります。また、相場が急激に変動したとき等には、これらの通知が相場の変動に遅れて到達する場合や、これらの通知が送信される前に、ロスカットルールが適用される場合もあります。

ロスカット水準の設定値に対するアラート通知およびプレアラート通知の証拠金維持率の値は、次の表に掲げられております。

ロスカット水準	レバレッジ 25 倍コース		レバレッジ 10 倍コース		レバレッジ 5 倍コース		レバレッジ 2 倍コース	
	アラート	プレアラート	アラート	プレアラート	アラート	プレアラート	アラート	プレアラート
95%	115%	145%	115%	145%	115%	145%	115%	145%
90%	110%	140%	110%	140%	110%	140%	110%	140%
85%	105%	135%	105%	135%	105%	135%	105%	135%
80%	100%	130%	100%	130%	100%	130%	100%	130%
75%	95%	125%	95%	125%	95%	125%	95%	125%
70%	90%	120%	90%	120%	90%	120%	90%	120%
65%	85%	115%	85%	115%	85%	115%	85%	115%
60%	80%	110%	80%	110%	80%	110%	80%	110%
55%	75%	105%	75%	105%	75%	105%	75%	105%
50% (初期値)	70%	100%	70%	100%	70%	100%	70%	100%
45%	—	—	65%	95%	65%	95%	65%	95%
40%	—	—	60%	90%	60%	90%	60%	90%
35%	—	—	—	—	55%	85%	55%	85%
30%	—	—	—	—	50%	80%	50%	80%
25%	—	—	—	—	45%	75%	45%	75%
20%	—	—	—	—	40%	70%	40%	70%

※ 原則として、1取引日に1回送信されます。ただし、送信後にロスカットルールが適用され、もしくは強制決済された場合またはレバレッジコースもしくはロスカット水準の設定を変更した場合に、その後、再び証拠金維持率がプレアラート通知またはアラート通知の基準に達した場合は、その時点にも送信されます。

※ 建玉を保有した時点で、証拠金維持率がプレアラート通知またはアラート通知の基準値を下回った場合にも送信されます。

(2019年10月)